

附属中だより



令和5年2月
第9号

エネオス童話賞優秀賞受賞！



第53回（2022年）E N E O S 童話賞において、2年生園田桃子さんの「まるの涙」が中学生の部398編の中から優秀賞に選ばれました。この賞は、「心のふれあい」をテーマにした創作童話のコンクールとして1970年から始まり、名だたる選考委員により審査が行われています。今回も西本鶏介先生（児童文学者）、立原えりか先生（童話作家）、角野栄子先生（童話作家）、中井貴恵さん（女優・エッセイスト）、宮西達也先生（絵本作家）、薫くみこ先生（児童文学作家）の6名の先生方とE N E O S 童話賞選考委員会による厳正かつ慎重な審査の結果、園田さんの作品が優秀賞に選ばれました。入賞した作品は「童話の花束」という冊子にまとめられ、多くの方に親しまれています。

<https://www.hd.eneos.co.jp/hanataba/awards/new/result/>

また、園田さんは龍ヶ崎中央ロータリークラブ主催の「未来創造コンテスト～わたしたちのSDGs～」でもグランプリとなりました。昨年度の特別賞に続き、2年連続の受賞となりました。昨年の授賞式で「来年も、またこの場に戻ってきたいです。」とあいさつしていたため、まさに有言実行となりました。

2年全国大会入賞！

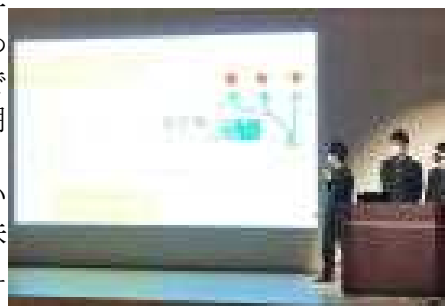
創造アイデアロボットコンテスト全国大会

1月28日（土）、各地区の予選を勝ち抜いた代表20チームによる全国大会がオンラインで行われました。予選では2回のレースを行い、上位8チームが決勝に進出、決勝は1回のみのレースで、それぞれの技術を披露しました。

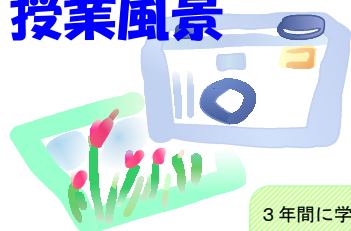
昨年度、全国優勝に輝いた3年生の鈴木悠心さん、谷川友太さんのチーム「飛竜」は、2年連続の優勝を目指し、県大会、関東大会、そして全国大会とロボットの改良を重ねてきました。予選では練習での成果を十分に発揮できず、全体6位と出遅れてしまいましたが、決勝では見事3位、全国中学校産業教育教材振興協会会長賞を受賞しました。

昨年度の比べ、コースの難易度が増し、全国的にレベルアップした大会で苦戦しましたが、見事2年連続の全国大会入賞となりました。

また、惜しくも全国大会に出場を逃した中村優乃介さん、福澤圭太さんのチーム「SHAKURA」と「飛竜」のメンバーが合同で、県立中学校の3年生が一堂に会する「探究活動成果発表会」でこれまでの取組について発表しました。ザ・ヒロサワシティ会館のステージで昨年度と今年度のロボットの比較や、工夫点について説明しました。発表の内容に興味をもった生徒が多かったようで、発表終了後、他校の生徒に囲まれ質問攻めにあっていました。茨城県全体で、ロボットやプログラミングに興味をもつ生徒が増え、互いに切磋琢磨し、「ロボコンといえば茨城」となる日がやってくることを期待しています。



授業風景



3年 理科

3年間に学習した内容で、興味のあることをスライドにまとめてプレゼンテーションしました。忘れていたことを思い出したり、高校の内容にも踏み込んだり、多彩な発表ができました。



1月は、入学者選抜のため自宅学習日もありましたが、学校では、様々な形態での学習に取り組んでいます。

1年 英語



ネイティブとのオンライン英会話。合間に、ALTと対面での会話練習をしています。

ホワイトボードにアイデアを書き出しながら話し合っています。みんな真剣です。

1年 学活

2年 総合



下館一高附属中学校2年生とのオンライン交流会。事前に質問したいことを送りあい、お互いそれに答えていました。R2に開校した5校は、定期的に交流しています。

小学校の先生方へ

1月7日（土）に令和5年度の入学者選抜が終了いたしました。40名の募集に対して志願者は144名、倍率3.6と、今年度も狭き門となりました。小学校の先生方には、調査書の作成や教育委員会への報告等大変お世話になりました。

おかげさまですべての入学者が決定し、2月11日（土）には、本校において入学者説明会を実施いたしました。雪の影響が心配されましたが、暖かい晴天に恵まれ、入学予定者は保護者と共に、喜びと緊張が入り交じった表情で登校してきました。校長はじめ、本校職員から中学校生活に向けての心構えや、学校生活について説明されると、皆、真剣にうなずきながら聞いていましたが、早速、入学までの課題も出されると、合格してものんびりはしてられないという空気が漂いました。

次に登校するのはいよいよ入学式です。本校でも、新入生を迎える準備を着々と進めていきます。

お問い合わせ・ご連絡

竜ヶ崎第一高等学校附属中学校 0297-62-2146（教頭 内川）